

編 集 後 記

最近、流通事業の自由化がさげばれているが、それは需要の多様化、サービス化、情報化などどのような関係にあるのであろうか。以前は流通は暗黒大陸だといわれ、最近でも流通経路が複雑なために、円高メリットが消費者に還元されないのだといわれている。かつての効率化は、生産者から消費者までもっとも短いルートを作ることではなかったか。しかし効率化に2つの意味があり、個別企業の効率化と、市場などの社会的システムの効率化の区別である。両者の関連は重要であるが、区別を混同することから混乱が生じるのではなかろうか。ちょうどコンピューター管理の発達が株式市場の暴落とむすびつくようなものである。この分野は、まだわからないことが多すぎるように思う。(63年1月、速水)

研究所業務報告

1. 現在、定村教授を中心にして、東京都庁より依頼の「輸入原料品から加工・生産及び流通段階での円高の影響による価格変動に関する調査」が進行中、本年度末までに報告書を都庁へ提出する。
2. 同じく山野辺教授を中心にして、全日本トラック協会より依頼の「引越輸送における消費者の意向調査」と、日通総合研究所より依頼の「クーリエ業に対するアンケート及び聞き取り調査」が進行中、いずれも本年度末までに報告書を提出する。
3. 研究所規定の改正（調査・研究の報酬規定の作成、資料の取扱方法など）の文案を現在作成中。
4. 62年12月15日、研究所企画運営委員会を開き、以上の3点について報告、検討を行なった。